

WONDER WOODGUARD

木材を雨・紫外線からしっかりと守る

油・溶剤のニオイがしない

水性木材保護塗料

日本建築学会 JASS18 M-307(木材保護塗料塗り)規格適合

ワンダー水性一液型ウッドガード



ワンダー水性一液型ウッドガード#202プラチナホワイト色塗装(仙台市)



CPC キャピタルペイント株式会社

水性塗料の先駆け

「ワンダー水性一液型」屋外対応版！

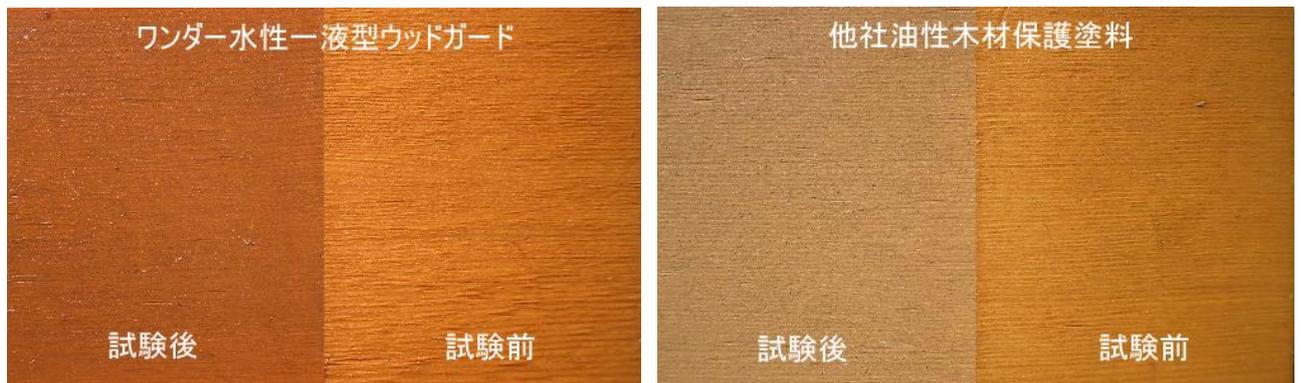
ワンダー水性一液型

ウッドガード

◎ 木材を劣化から守る『抜群の耐久性』！

塗装松材が JIS-K-5600-7-7 に基づく促進耐候試験（キセノンランプ法）で500時間を経過しても光沢を保ち著しい劣化はありません。環境条件によって異なりますが、およそ2～3年に相当します。塗膜は水をはじく効果があり、雨に濡れても問題ありません。

- 促進耐候性試験（キセノンランプ法 500 時間）後の塗装松材



◎ 木材を虫・カビから守る『防腐防虫防カビ剤混合』！

防腐防虫防カビ剤を混合しており、JIS-Z-2911 に基づくカビ抵抗性試験において、カビ・菌への効果も実証されています。

- 抗菌性・抗カビ性試験（JIS-Z-2911 カビの抵抗性試験）判定基準： - : 菌の発生なし。

	カビ菌		カワラタケ		オオウズラタケ	
	1 週後	2 週後	1 週後	2 週後	1 週後	2 週後
ワンダー水性一液型ウッドガード	-	-	-	-	-	-

【カビ菌】

【カワラタケ】

【オオウズラタケ】



◎ 燃えにくく発煙が少ない塗膜『難燃1級試験合格品』！

塗膜が JIS-A-1321 に基づく難燃1級試験に合格する性能をもっています。火災時に燃焼・燃え広がりが少なく、煙の発生する量が少ない塗膜をつくります。

※ 用 途

木部建築外装全般 （学校・幼稚園・ケアハウス・病院・一般住宅・公共施設など）
木部エクステリア製品 （フェンス・ベンチなどのガーデニング製品）

※ 標準塗装仕様

塗装工程	使用材料	配合量	塗装方法	乾燥時間
素地研磨	サンドペーパーNo.120～180			
下塗り	ワンダー水性一液型ウッドガード	100	刷毛・スプレー・ ローラーなど 80g/m ²	2時間以上 (20～25℃)
研磨	サンドペーパーNo.180～240			
上塗り	ワンダー水性一液型ウッドガード	100	刷毛・スプレー・ ローラーなど 60g/m ²	2時間以上 (20～25℃)

※ 品 種 及 び 荷 姿

標準色 16色 14kg（約92m²分）／3.5kg（約23m²分）※2回塗り

※ 標 準 色

 #102 マリーゴールド	 #103 バートンシェンナ	 #105 カスタニ	 #202 プラチナホワイト
 #115 アプリコット	 #107 パーシアンレッド	 #104 エボニー	 #116 ライトグレイ
 #110 チェスナット	 #111 ミディアムブラウン	 #112 ブラック	 #106 ハンターグリーン
 #201 アンティークブラウン	 #108 パリサンダ	 #901 マットクリヤー ！単独使用不可！	 #902 クリヤー ！単独使用不可！

#901 マットクリヤー及び#902 クリヤーは、単独で屋外使用をしますと基材の変色が起こりますので、単独では使用せず表面光沢調整を目的とした上塗り用・混合用や、他配合色の濃度希釈用として使用してください。
色調は、印刷の理由で実際のものとは異なります。また、塗装する基材によっても異なります。

< ! > 注意事項

- ・ 「ワンダー水性一液型ウッドガード」の優れた耐候性能を発揮させるには、塗装する木材の含水率を15%前後に調節しておき、木口面・裏面を含む全面にしっかりと塗装をする必要があります。
- ・ 「ワンダー水性一液型ウッドガード」は促進耐候試験および曝露試験をおこない、塗膜の耐久性を確認しておりますが、ご使用の環境・基材により試験結果と耐久性が異なります。
- ・ 「ワンダー水性一液型ウッドガード」は、防虫・防腐・防カビ剤を含んでおり、代表的な虫や菌・カビに効果があることを確認しておりますが、すべての虫・菌・カビに効果があることを保証するものではありません。
- ・ 「ワンダー水性一液型ウッドガード」は、ホルムアルデヒド等の厚生労働省が指針値を定めたシックハウス対象化学物質を一切含んでいませんが、外部専用塗料のため建築基準法で定めたホルムアルデヒド発散建築材料F☆☆☆☆の表示対象とはなりません。
- ・ 「ワンダー水性一液型ウッドガード」は塗膜としてJIS-A-1321 難燃1級試験に合格しています。これは塗膜性能をあらわすものであり、無処理の木材に塗装することで塗装品が難燃1級試験に合格することを保証するものではありません。
- ・ 「ワンダー水性一液型ウッドガード」には、塗料中に着色成分が混合されており、保管中に沈殿する場合がありますので、よくかき混ぜてからご使用ください。また、混合した後も、塗料中の着色成分が沈殿する場合がありますので、塗装中も時々かき混ぜてください。
- ・ 難燃剤・漂白剤・ヤニ抜き剤等が塗布されている材の場合、「ワンダー水性一液型ウッドガード」を塗装しますと、反応により塗装不良となる場合がありますので、必ず事前にご確認ください。
- ・ 「ワンダー水性一液型ウッドガード」は、長時間空気に触れると乾いて膜を生成してしまいますので、使用時以外は必ず密栓をおこなってください。
- ・ 塗装後48時間(20℃)以上経過した塗膜へ重ね塗りをする際は、塗料がはじく可能性がありますので、必ず#240ペーパーで軽く研磨をしてから、塗り重ねをおこなってください。
- ・ 「ワンダー水性一液型ウッドガード」は、一度凍結してしまうと、解凍をしても十分な性能を発揮しません。保管状況に注意してください。
- ・ 塗装環境の気温が5℃以下または湿度が80%以上になると、乾燥・硬化が遅れますので、塗装を避けるか調整をおこなってください。

< ! > 他、木材塗装に関する一般的な注意事項

- ・ モルタル・コンクリート・しっくい等に含まれるアルカリ成分は、木材に含まれるタンニンやリグニンと反応して変色を起こします。シュウ酸水溶液や過酸化水素水で変色部分を除去する必要があります。(アルカリ汚染)
- ・ 釘や切削工具等の鉄分は、木材に含まれるタンニン等と反応して黒く変色を起こします。シュウ酸水溶液で変色部分を除去する必要があります。(鉄汚染)
- ・ 酸性接着剤等に含まれる酸は、木材と反応して赤く変色を起こします。過酸化水素水や亜塩素酸ナトリウムで変色部分を除去する必要があります。(酸汚染)
- ・ 木材から染み出したヤニを除去せずにそのまま塗装をしますと、塗料と反応して乾燥・硬化不良の原因となります。エチルアルコールまたは塗料用シンナーで拭き取って、ヤニを除去する必要があります。
- ・ 木材の表面にあらわれたカビ類は除去してから塗装する必要があります。漂白剤(次亜塩素酸ナトリウム)とブラシを用いて除去したのち、漂白剤をよく洗い流して乾燥させてから塗装してください。

※ 安全面については十分に考慮した塗料ですが、SDSを必ず読み遵守してください。
カタログ・SDSの記載内容は、現時点で入手可能な資料に基づいて作成しておりますが、記載のデータ・評価を保証するものではありません。目的に合うかどうか、必ず事前に試し塗りをおこなってください。

キャピタルペイント株式会社

(一社) 日本塗料工業会正会員・Coatings Care®宣言会社
林野庁が展開する木づかい運動/ウッド・チェンジに賛同します
〒569-0054 大阪府高槻市若松町 8-10
Tel : 072-672-7330 / Fax : 072-672-7336
Homepage : <https://www.capitalpaint.jp/>
E-mail : info@capitalpaint.jp